

## 114名が参加して第62回定期総会を開く

### 町会が住民の安全と安心の砦に、自主防災会総会も開催

町会は4月29日、13時30分から船田会館において、井上正芳副会長の司会で第62回定期総会が開催しました。会員定数778世帯中、出席者114名、委任状484名、計602名で総会が成立、議長に松本武久さん(8区)を選出して議事が進められました。

#### ■残された大きな課題は舟田道拡幅工事～平塚会長挨拶

冒頭、挨拶に立った平塚会長は「この1年間、一方通行解除や郵便ポスト新設、児童館前屋根付きバス停、会館の環境整備(カラオケ機器設置や小会議室の新設)など懸案事項が大きく前進した。残された課題は舟田道拡幅工事、町会は引き続き住民の期待に応えられるよう安全・安心のまちづくりにむけて邁進する」と挨拶をしました。

#### □平成30年度活動計画、予算案を満場一致で決定

平成29年度経過報告を川越副会長、決算報告を吉村会計担当部長、会計監査報告を三浦監査員がそれぞれ行いました。これに対し、町会からの脱会対策について質問が出されましたが「この地域の社会秩序を維持するためにも、一人でも多く町会へ」ということを確認し満場一致で承認されました。

引き続き、平成30年度活動計画案を平塚会長、予算案を吉村会計担当部長が行いました。これに対し敬老会参加者への参加費徴収、多額な繰越金と町会費の見直しなどの質問意見がありました。町会からは「敬老会参加費のあり方については検討する」「繰越金は経費節約など努力を積みあげた結果であり、多いとは考えていない。備えがあれば災害時に対応できる。会費の見直しは考えていない」と見解を明らかにし、満場一致決定しました。

#### ■会則、会館使用規定、カラオケ管理運用規定、自主防災会規約の一部改正を決定

平塚会長から無用であった町会会則第18条の削除、小会議室の使用料を新たに設定した船田会館使用規定の一部改正、1年間の実績をふまえて一部改正したカラオケ機器管理運用規定、そして、平成12年に制定した船田町会自主防災会規約と現在の町会の防災活動の運営に乖離があることから、規約の見直しと船田町会自主防災会運営部(防災部)細則の制定が提案され、満場一致決定しました。

## みんなのまちはみんなで守る＝平成30年度船田町会自主防災会総会

定期総会終了後、はじめて船田町会自主防災会の総会を開催しました。議長に松本武久さん(8区)を選出して議事が進められました。

平塚会長から平成30年度防災活動方針が提起されました。このなかで町会の防災活動は「みんなのまちはみんなで守る」という基本理念のもとに地域住民が連携して活動していくことが重要と強調し、具体的な取り組みを9項目に亘って提案しました。とくにこの中で町会の基本方針をふまえ、実践する防災部の新たな体制の確立と会員の拡大が急務であり、町会も最大の支援をすることを明らかにしました。

また、今年度の町会自主防災会の役員を次のとおり選出して、総会は終了しました。

会長	平塚 忠勇		
副会長	井上 正芳	青木ツヤ子	川越 光夫
幹事	油井千代市	淵 敏美	木村 雄一



### 町会短信



■ 町会費を5月20日から徴収しますので  
ご協力をお願いします。

□5月3日の琴平・山王神社の例祭はお神楽も出て盛大に開催されました。「こまくさの家」の皆さんも大勢参加して楽しみました。

□長房ふれあい端午祭り(4,5日)に船田町会から舞踊とカラオケ大会へ20組が参加しました。

□平成30年度日本赤十字社の会員募集を5月20日から実施しますのでご協力をお願いいたします。